トピックス

トーフ根で釣られたゴマフイカ

平成30年2月19日、伊豆漁業協同組合須崎出張所から「珍しいイカが釣れたので種類を調べてほしい」との依頼がありました。

漁獲したのは須崎地区の「すさき丸」さんで、「トーフ根」漁場でキンメダイを釣っている最中、道具に引っかかってきたということでした。外套長（胴の長さ）59㎜、体重42.3gの比較的小さなイカで（写真）、種名を調べたところ、ゴマフイカ（*Histioteuthis corona inemis*）という名のイカであることがわかりました。全身にゴマのようなブツブツがたくさんついているのが名前の由来であり、このゴマフは全て発光器で海の中で光るといいます。日本沿岸太平洋側の水深 300m当たりに生息していて、底曳き網で獲られることがありますが、目にするのはかなり稀なことだと思います。

写真　ゴマフイカ

（吉川康夫）